システムライフサイクルを

近年、システム構築・運用の自動化は、省力化や効率化を目的に進化してきました

ル時代に合ったシステム構築・運用を実現する手段の一つとして、改めて注目を集めています。

2020年

定員150名

金

13:00~16:00

(受付開始 12:30)

実施方法:Webミーティングツール

(開催前までに接続方法をメールでご連絡いたします。)

※Exastro(エグザストロ):システムライフサイクル(設計・開発・ 設定・運用)をデジタル化・自動化・省力化することを目的とした オープンソースのソフトウェアスイート。

ディスカションいたします。 この貴重な機会を是非ご活用ください。

うに解決できるのかを解説します。

であることを解説します。



吉田 功-NEC サービス&プラット フォームSI事業部

Session 1 13:00 - 13:45

攻めと守りの両面からシステム構築・運用を デジタル化するオープンソースの ソフトウェアスイート「Exastrolとは

ジタル化するExastro活用術

攻めと守りの自動化でニューノーマルを勝ち抜く

そして、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の世界的な拡大による影響で、「自動化」は、ニューノーマ

本セミナーでは、「自動化」によりこれまで人手でカバーしてきた潜在的なシステム構築・運用の課題をどのよ

さらに、スピーディーなサービス展開でビジネスの優位性を支えるためにも「自動化」が KFS(重要成功要因)

NTTドコモ様、レッドハット様をお迎えしたトークセッションもご用意しており、本領域での取り組みについて

「攻めのデジタル化・自動化」とは何か?「守りのデジタル化・自動化」とは何か? これらは目的・領域の違いから、今まで別々に議論されてきました。 ところが、ニューノーマルにおけるデジタル化の加速を受け、想定よりも早くこれら をハイブリッドで活用すべき時代が到来しました。

本セッションでは、「そもそも攻めと守りとは何を意味するのか?」を解説します。 そしてそれらの「デジタル化・自動化」を実現するためのソフトウェアである 「Exastro」を紹介します。

Session 2 14:20 - 14:55

まずは守りの自動化を!

日々繰り返すアラート対応はExastroにお任せあれ

システム規模が大きい場合や、複数のシステムを統合運用する場合などに、日々大 量に挙がるアラートメッセージへの対応に忙殺されることはよくあるケースです。 本セッションでは、「守りのデジタル化・自動化」を適用すべき代表的なケースとし て、日々繰り返すアラート対応を如何にして自動化・省力化することができるのか を、実機デモを交えながら分かりやすく解説します。



河野 友生子 NEC サービス&プラット ー人SI事業部



脇谷 徹 NEC サービス&プラット フォームSI事業部

Session 3 15:25 - 16:00

そして攻めの自動化へ!

Exastroによるクラウドシフトの実現方法

クラウドネイティブでは、作業量に糸目を付けてはならず、その前提においても稼 働爆発しないように、原則としてあらゆる作業を自動化しなければなりません。 そのためには、2種類の自動化メソッドを駆使する必要があります。手続型の自動 化と宣言型の自動化です。

本セッションでは、ガバナンスの効いたAWSシステムを構築し、さらに稼働中の仮 想マシン(EC2)にパッチ適用するといったシナリオを題材に、クラウドネイティブに おいて2種類の自動化メソッドの両方が必要になることを解説します。

セミナーの詳細・お申し込みはこちら ※申し込み締切 9月10日(木) 12:0

https://exastro-suite.github.io/docs/event/20200911.html



Talk Live 1 13:45 - 14:15

NTTドコモと共に考える!

運用の進むべき道

~システム運用からサービス運用へ~

運用基盤では「システムで何が起こっているのか」をモニタリング する機能は充実していますが、現場の運用者が知りたいのは「サー ビスで何が起こっているのか」なのです。

本セッションでは、「サービスのための運用」を実現するために取 るべきアプローチを熱く討論します。

パネラー



山上 拓也 NTTドコモ サービスデザイン部 運用企画担当

遠藤 裕己

NEC OMCS事業部

モデレータ 吉田 功一 NEC サービス&ブラットフォームSI事業部

Talk Live 2 14:55 - 15:20

レッドハットと共に考える!

クラウドネイティブに対応した あるべきインフラの姿とその運用

ITがスピーディーなサービス展開に追いつき、ビジネスの優位性を 支えるという攻めのIT戦略の見地から、DXやクラウドネイティブ の気運は高まり続けています。そしてクラウドネイティブで特に重 要とされているのは「設計に自動化を組み込む」という原則です。 本セッションでは、インフラの設計に自動化を組み込み、そしてそ れを運用するために検討すべきポイントをクールに討論します。



安楽 慎吾 レッドハット株式会社





モデレータ **吉田 功一** NEC サービス&プラットフォームSI事業部